

近畿建設リサイクル表彰	優 秀 賞
受 賞 者	関西チップ工業株式会社、関西商事株式会社
受 賞 テ ー マ	近畿地方の建設発生木材の再生と有効利用を目指して約半世紀

【取組概要】

関西チップ工業（大阪市住之江区）、関西商事（大阪府忠岡町）にて木くずのリサイクル率向上を目指し、45年以上の長年にわたり試行錯誤してきた。

①柱など良質な木材をダンボール原料へリサイクル【Recycle】

解体工事から発生する柱などの良質な木材を、関西チップ工業でカッター切削し、ダンボール原料へリサイクルしている（年間 27,000～30,000 トン：建設副産物実態調査で近畿全体排出量の約 3.4%を占める）。

製紙会社から求められる品質を確保するため、処理機械メーカーと刃の向きや角度など試行錯誤しながら、長年品質向上に努めてきた。

②多種多様な木材のリサイクル【Recycle】

上記関西チップ工業で受け入れられない木材を関西商事で受け入れ、パーティクルボードや木くずボイラー燃料などへリサイクルしている（年間：50,000～55,000 トン：建設副産物実態調査で近畿全体排出量の約 6.2%を占める）。

【評価ポイント】

- ・ 関西チップ工業（大阪市）、関西商事（忠岡町）にて木くずのリサイクル率向上を目指し、45 年以上の長年にわたり、取組みを実施
- ・ 毎年度 8 万トン（近畿全体の約 10%相当と推計される）の建設発生木材を受け入れ、リサイクル
- ・ 処理機械メーカーと刃の角度・硬さを試行錯誤しながら、マテリアルリサイクル（ダンボール用チップ）を推進



分別徹底された柱材をカッター切削